

# 2 『易経』の歴史

- ・「易道は深し、人は三聖を易へ、世は三古を経たり」(漢書『易文』)
- ・伏羲・文王・周公旦、孔子…四聖人
- ・伏羲が卦を画し、文王が象を作り、周公が爻の辞をかけ、孔子が十翼を著した(通説)
- ・起源…周代以前(BC.1,000ころ)
  - 今から3,500から4,000年以上前
  - 三皇五帝の時代?
- ・古の聖人が原型をつくり、多くの賢人が肉付けし(十翼)、多くの年月を経て『易経』として完成した
- ・占筮書(卜学)から「経書」(思想・哲学)
  - 義理易への融合・発展
- ・機にして妙なる体系の本の完成
- ・五経(儒学の五大聖典)の首位
- ・韋編三絶(孔子)
  - 秦代「焚書・坑儒」を免れる
- ・十翼
  - 象伝上下、彖伝上下、繫辭伝上下、文言伝、説卦伝、序卦伝、雜卦伝

